

図2. 縄文中期前葉の遺跡

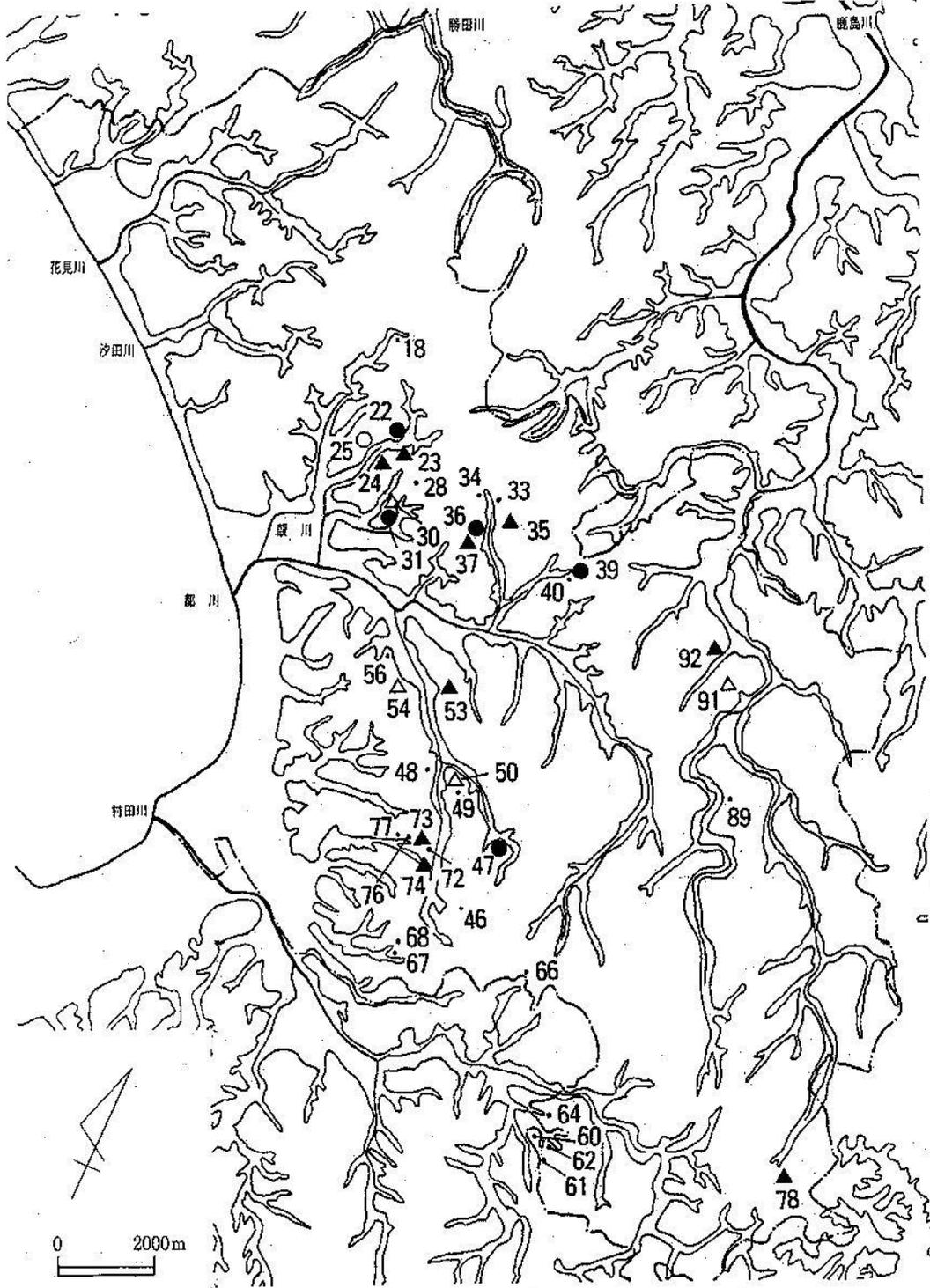


図1 千葉市内の縄文時代中期集落遺跡分布 (阿玉台式・中峠式期)

図3. 縄文中期中葉の遺跡

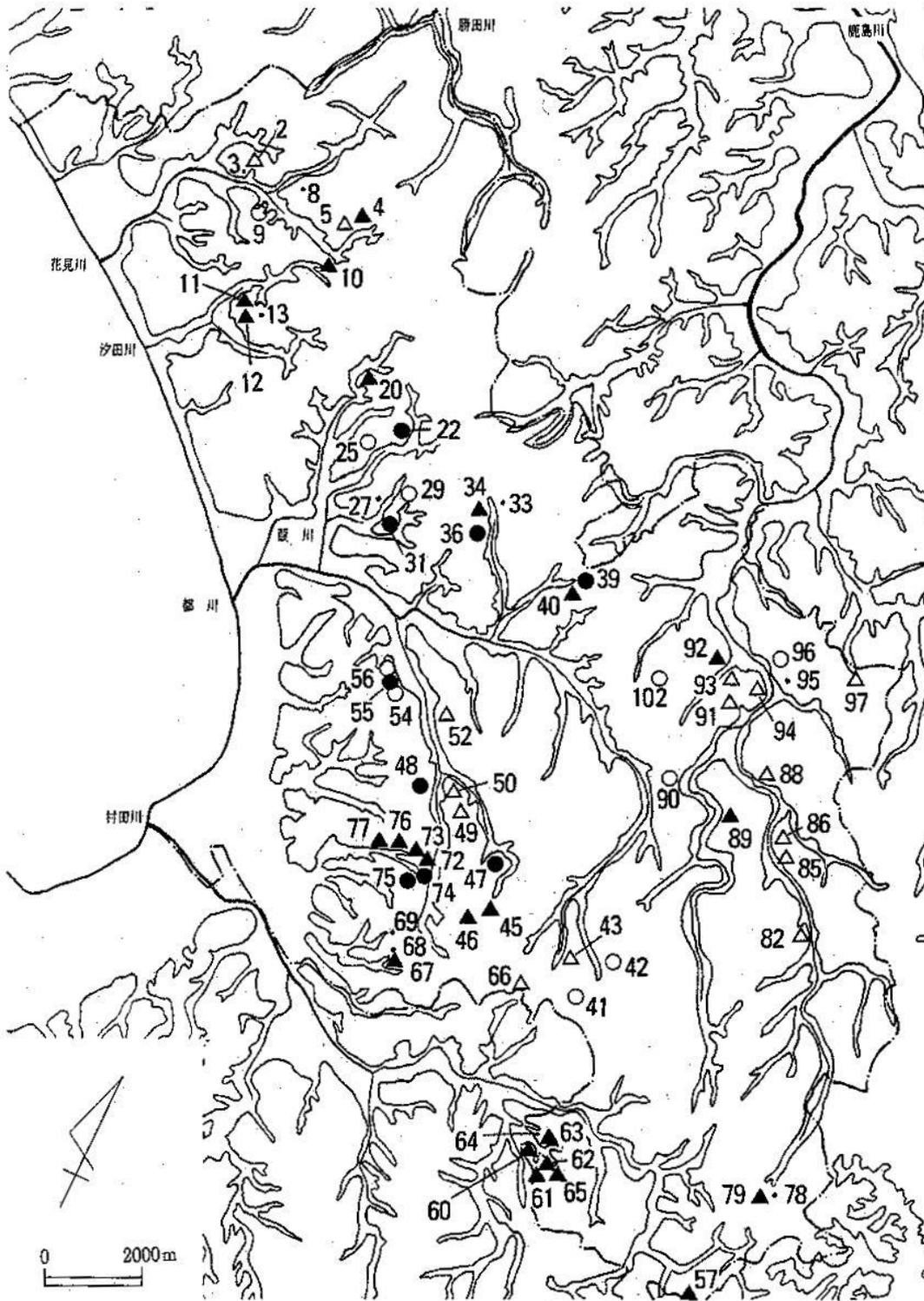


図2 千葉市内の縄文時代中期集落遺跡分布(加曾利E I式・E II式期)

図5. 中薙遺跡発掘調査



図6. 中薙遺跡 竪穴住居址

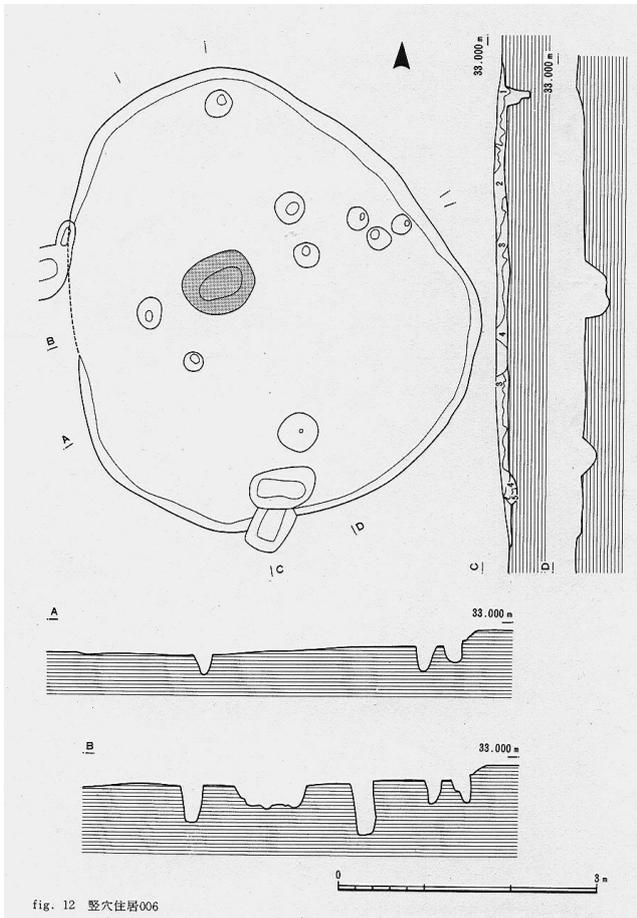


図7. 中薙遺跡落し穴

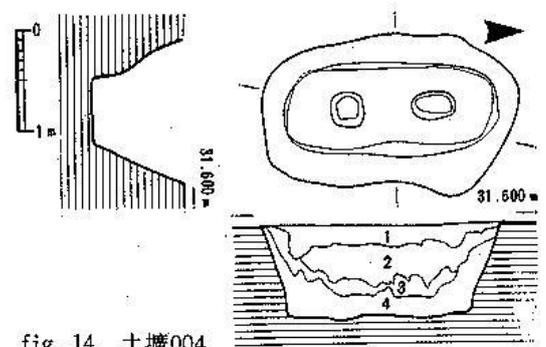
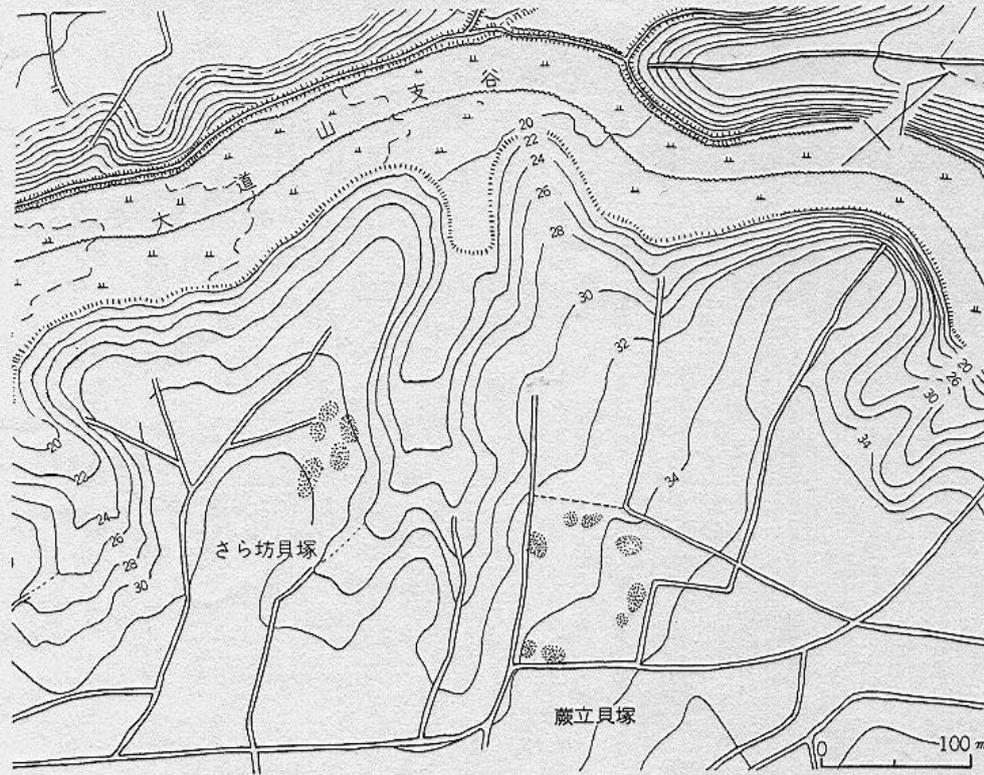


図8. 蕨立遺跡

第2項 縄文時代の主な遺跡(荒屋敷貝塚・蕨立貝塚)



▲ 2-41 蕨立貝塚の周辺地形図

(千葉市都市図1965・今井公子作図1966)

蕨立貝塚 (69)

(坂月町字蕨立 所在(湮滅)
通史(1) 一〇三、一五八、一六三ページ参照)



▲ 2-42 蕨立貝塚における発掘状況

都川本谷から分れた大道山支谷に面する台地上に発見された点列馬蹄形貝塚で、本貝塚の西方には小支谷をはさんで、さら坊貝塚がある。昭和26・41年、武田宗久指導で、県立千葉高校、東金高校、千葉市立高校の生徒たちが発掘した。縄文中期(加曾利E I 式期)の住居址22、竪穴遺構9、人骨9体を発見した。

(穴倉昭一郎提供)

図9. 蕨立遺跡 竪穴住居址

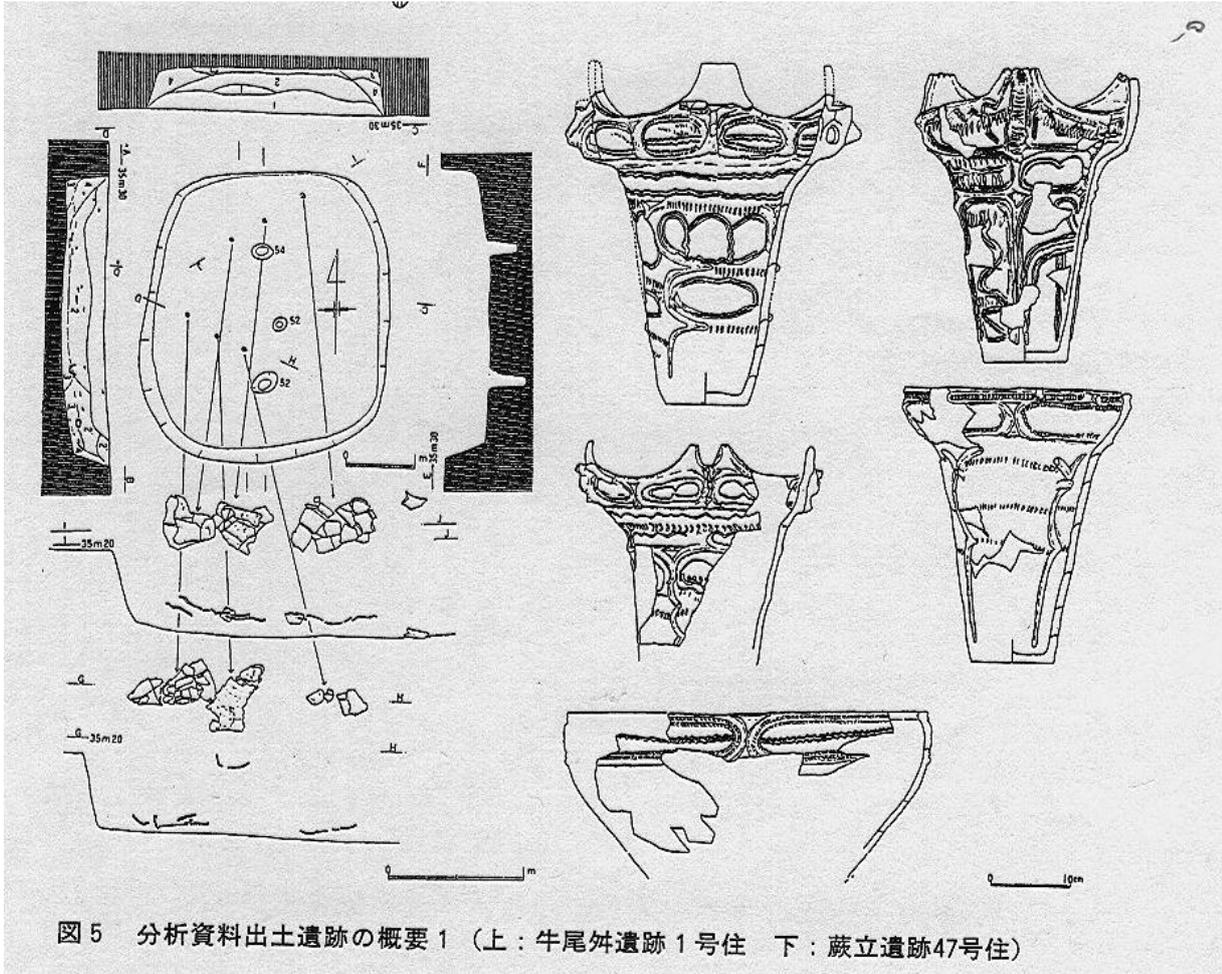


図10. 蕨立遺跡 黒曜石チップ

